

- 問1 日本が行っている技術援助や、非政府組織（NGO）が現地で展開している協力事例に見られる、現代の国際協力における重要な「理念」について述べたものとして、最も適切なものを選びなさい。（2016年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|--|--|
| 1. 途上国の主権を制限し、先進国が直接的に産業を運営する協力のあり方 | 2. 途上国の自立を促し、持続的な経済の発展を目的とした協力のあり方 | 3. 途上国の独自の文化を否定し、先進国と全く同じ社会構造を強制する協力のあり方 | 4. 途上国の経済発展を阻止し、常に先進国の援助が必要な状態に留める協力のあり方 |
|-------------------------------------|------------------------------------|--|--|
- 問2 近年、環境配慮への取り組みとして、宅配便を一度で受け取ることが推奨されています。配送トラックの走行距離や稼働時間を抑制することで、地球温暖化の原因となる物質の排出を抑えることが目的ですが、この取り組みによって削減を目指している、二酸化炭素などの物質の総称として最も適切なものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 温室効果ガス | 2. フロンガス | 3. 放射性廃棄物 | 4. 窒素酸化物 |
|-----------|----------|-----------|----------|
- 問3 使われなくなった携帯電話やパソコンなどの小型家電製品には、金などの希少な金属が含まれています。これらの製品を資源として捉え、回収して再利用する取り組みを何と呼びますか。（2023年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|---------|-----------|---------|
| 1. バイオマス発電 | 2. 貿易摩擦 | 3. 海底資源開発 | 4. 都市鉱山 |
|------------|---------|-----------|---------|
- 問4 化石燃料の過剰な利用が、地球温暖化を進行させる主な要因となっている理由として、最も適切な説明はどれかを選びなさい。（2020年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 利用時に発生する熱が直接大気を暖め、海水の蒸発を促すため | 2. 資源を採掘する際に、地中の地熱を大気中に放出させてしまうため | 3. 植物の成長を阻害する有害物質を排出し、光合成を妨げるため | 4. 燃焼させる際に、温室効果ガスである二酸化炭素を排出するため |
|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問5 エネルギー資源に関する統計資料において、化石燃料を用いた発電と太陽光や風力を利用した発電の特徴が比較されています。この内容に基づき、化石燃料の現状について述べた文として適切なものを、次の中から選びなさい。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 発電の過程で温室効果ガスを排出しない、環境負荷の低いエネルギーである。 | 2. 枯渇する心配がなく、一度利用しても比較的短期間で再生が可能である。 | 3. 特定の地域に資源が集中しており、採掘可能な年数が限られている。 | 4. 電力需要が急増した際に、発電量を柔軟に調整することができない。 |
|--|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問6 1970年から2018年にかけての統計において、二酸化炭素やメタンといった物質の排出量が大幅に増加しています。これらの物質が地球温暖化を引き起こす直接的な原因となる仕組みとして、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2022年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|
| 1. 森林の光合成を妨げることで、植物による酸素の放出量を減少させる働きをする。 | 2. 大気中の雲の形成を促進し、太陽光が地表に届くのを遮断する働きをする。 | 3. 地表面から放射される熱を吸収し、大気の温度を上昇させる性質を持っている。 | 4. 太陽から届く紫外線を吸収し、成層圏の温度を急激に下げる性質を持っている。 |
|--|---------------------------------------|---|---|
- 問7 循環型社会の形成を目指す3R（リデュース、リユース、リサイクル）という活動のうち、使い終わった製品をそのままの形で再度使うのではなく、一度資源として回収し、再び製品の原料として加工して利用することを何といいますか。（2018年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 1. リフューズ | 2. リユース | 3. リサイクル | 4. リデュース |
|----------|---------|----------|----------|
- 問8 地球温暖化対策の国際的な合意は、時代とともにその対象や目標が変化してきました。2015年に採択されたパリ協定の内容や背景として、最も適切な記述を選びなさい。（2023年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 世界の年平均気温の上昇を、産業革命前と比較して2度未満に抑えるという長期目標を掲げた。 | 2. 二酸化炭素の排出量が増加し続けている現状を踏まえ、温室効果ガスの排出を世界全体で即座にゼロにする合意がなされた。 | 3. 1990年代の地球サミットで設定された目標を緩和し、各国の経済発展を優先させることを目的としている。 | 4. 先進国にのみ二酸化炭素の削減を義務付け、発展途上国を対象外とした京都議定書の仕組みを継続した。 |
|--|---|---|--|
- 問9 2000年に開催されたハノーバー万国博覧会の背景にある「酸性雨」の被害について、ドイツの森林被害が自国のみならず周辺諸国の影響も受けて広範囲にわたった要因として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 季節によって吹く方向が逆転する季節風が、夏と冬で交互に汚染物質を循環させたため | 2. 中緯度帯の上空を一年中西から東へと吹いている偏西風が、汚染物質を遠方まで運んだため | 3. 山岳地帯から平地に向かって吹き下ろす局地的な風が、特定の森林に汚染物質を停滞させたため | 4. 赤道付近から高緯度地域に向かって吹く貿易風が、熱帯の汚染物質をヨーロッパへ運んだため |
|--|--|--|---|
- 問10 政府が推奨する地球温暖化対策の国民運動において、低炭素社会の実現に向けた賢い選択（チョイス）が呼びかけられています。家庭部門における排出量増加という背景を踏まえ、節電や省エネが必要とされる理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 日本のエネルギー自給率は非常に高く、節電は温暖化対策よりも資源保護が主目的だから | 2. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーは、家庭の電力としては活用できない仕組みだから | 3. 家庭で節電を行わないと、近隣地域で酸性雨が発生する直接的な原因となるから | 4. 電化製品の普及やライフスタイルの変化により、家庭でのエネルギー消費量が増大しているから |
|---|--|---|--|
- 問11 食品ロス削減のために、消費者が期限の迫った商品を優先して購入する際、指標となる「賞味期限」という言葉の説明として、正しいものはどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. お弁当や生菓子など、品質が急速に劣化しやすい食品において、安全に食べることができる期限 | 2. スナック菓子や缶詰など、比較的傷みにくい食品において、おいしく食べることができる期限 | 3. その食品が国内のどの地域で生産されたかを明確にし、消費者が安心して購入できる期限 | 4. 食品添加物の使用量について、国が定めた安全基準を維持するために設定された法的な廃棄期限 |
|--|---|---|--|
- 問12 現代の食生活において、環境への負荷を軽減するために推奨されている「地元で生産された農産物や水産物を、その地域で消費する」という取り組みを何と呼びますか。（2022年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 地産地消 | 2. 近郊農業 | 3. 促成栽培 | 4. 栽培漁業 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問13 2000年度から2020年度までの統計によると、高知県における「1人1日あたりのごみ排出量」は、全国平均が約1100gから900gへと変化する中で、約1070gから960gへと推移しています。この状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 高知県・全国ともに減少傾向にあるが、2020年度時点の数値を見ると高知県の排出量は全国平均よりも多い水準にある。 | 2. ライフスタイルの変化により全国的に排出量が増加している中で、高知県だけが大幅な減少に成功している。 | 3. 全国平均は減少している一方で、高知県の排出量は横ばい、または微増の状態が続いており、全国との差が拡大している。 | 4. 高知県の排出量は全国平均よりも常に少なく推移しており、2020年度には全国に先駆けて最小値を記録した。 |
|---|--|--|--|